



神奈川県

KANAGAWA

“伝えたいことがあります。”

手話をもっと知ってほしい。



©大今良時／講談社

## 聲の形 × 神奈川県

手話の普及推進を通じて、県民みんながお互いを大切に、支えあう社会を実現したい。その理想を掲げて神奈川県手話言語条例が施行されました。

県は、手話を普及推進する計画を平成27年度中に策定します。

“気持ちを伝える方法は声だけじゃない”



### 手話について

手話は、耳の聞こえない方が意思を伝えるための大切な言葉です。

手話は、国によって表現が異なります。また、方言もあります。

平成18年12月の国連総会で、障害者の権利に関する条約が採択され、手話が言語であることが世界的に認められています。



# “声は形にできる”



## 耳の聞こえない方から

「手話に出会って世界が一変した。手話は様々な文化の架け橋になる。  
ぜひ手話を身につけてほしい」  
「気楽に話ができる手段が手話であり、筆談では思いを伝えきれない」



神奈川県と「聲の形」は今後もコラボレーションしていきます!

## 神奈川県手話言語条例 (平成27年4月1日施行)

### ● 基本理念

ろう者(※)とろう者以外の者が、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生できる地域社会の実現のため、手話の普及等を推進します。

### ● 県の責務

県は、手話の普及等を推進します。市町村と連携・協力し、施策を推進します。

### ● 県民、事業者の役割等

県民は、手話に対する理解を深めます。

事業者は、ろう者へのサービス提供や、雇用するときは、手話の使用に配慮します。

※ろう者…この条例では、手話を言語として日常生活または社会生活を営む者のことです。



### ■ あらすじ

お前なんかに出会わなきゃよかった。もう一度、会いたい。

耳の聞こえる少年・石田将也。耳の聞こえない転校生・西宮硝子。ふたりは運命的な出会いをし、そして、将也は硝子をいじめた。やがて、教室の犠牲者は硝子から将也へと移っていった。幾年の時を経て、将也は、もう一度、硝子に会わなければいけないと強く思うようになっていた。

### ■ 作者・大今良時先生から

「点と点で生きている人たち。遠く、離れ離れの小島のように生きている人たちを描きたくて、この物語を描きました。みなさまに読んでいただければ、この上ない幸せです」

### 単行本全7巻 絶賛発売中!

©大今良時/講談社

このパンフレットに関する問い合わせ先

神奈川県保健福祉局福祉部 地域福祉課 調整グループ

T E L 045-210-4804 F A X 045-210-8857

神奈川県 手話

検索